

第21次モンゴル産業・文化視察団報告特集



植林して記念撮影

写真：神山 勝

会報

モンゴル

VOL. 56 2010.6.15

●発行者 中山 喜重
 ●発行所 長野県モンゴル親善協会
 長野市東町532-3
 TEL-FAX 026-235-6717

「第21次モンゴル産業・文化視察団」

平成22年5月17日(月)～22日(土)

■メンバー

- 団長 中山 喜重
- 団員 轟 公博 総務・会計担当
- 団員 長野県労働金庫
- 団員 神山 勝 写真担当
- 団員 長野市職労(自治労長野)
- 団員 峯村 英次 記録担当
- トーエネック労組(連合長野)

■日程

- 5月17日(月) 成田空港発 チンギスハーン空港へ
- 5月18日(火) ウランバートル フラワーホテル泊
- 5月18日(火) ダルハン市へ移動
- 工場見学 ダルハン県労使代表と面談・植林準備
- ウットウチンホテル泊
- 5月19日(水) トジンナルス地区でダルハン県労使代表と植林
- ロシア国境見学、ダルハン市に戻り、ウットウチンホテル泊
- 5月20日(木) ツーリストキャンプ・ソゴートへ
- 5月21日(金) ツーリストキャンプ泊
- ウランバートルへ
- 市内視察 森林再生団体GNCMON
- ゴルと会談 伝統歌舞鑑賞
- 5月22日(土) 帰国、成田空港へ

次なる節目に向かって

団長 中山 喜重

昨年9月、創立20周年企画として「親子でモンゴルの大地に植林をしよう」と計画しましたが、14年振りの大雪に見舞われ高速道が通行止めとなり、ロシア国境に近いトジンナルス地区での植林は中止となりました。

また、11月11日開催の定期総会ではポスト20周年の活動の重点として「モンゴルの砂漠化防止に貢献しよう」と提案して、了承いただきました。

続いて開催いたしました「創立20周年記念レセプション」の冒頭に、このことを挨拶として申しあげましたところ、こ来賓として臨席のR.ジグジッドモンゴル国大使からは「信州の森がモンゴル国にできたなら素晴らしい」とご祝辞をいただきました。

こうした背景を考慮して、植林をメインに「第21次モンゴル視察団」派遣を計画しました。昨年11月招聘したダルハン県の労使代表ほかのご協力をいただき、トジンナルス地区で植林をいたしました。

更に、森林再生団体「GNOMongolia」(4ページで紹介)の現地スタッフ(SOJIN=双日株式会社)B.ナサンブリッグ氏と面談して、モンゴルにおける緑化活動の現状をつがさに聴取できました。これは今後の活動のため大いに参考となりました。

今回は、以下に報告のとおり成果を納め無事帰国いたしました。各団体のご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。